

連合沖縄 2022 春季生活闘争開始宣言集会 宣言文

2022 春季生活闘争は、「総合生活改善闘争」の位置づけのもと、国民生活の維持・向上をはかるため、労働組合が社会・経済の構造的な問題解決を図る「けん引役」を果たす闘争としなければならない。

2019 年末から顕在化した新型コロナウイルス感染症は、収束の兆しが見え始めた矢先、年末からの新たな変異株の急激な感染拡大により、雇用・経済に甚大な影響を及ぼすとともに、医療現場は崩壊の危機に直面している。

連合は、『未来をつくる。みんなで作る。』をスローガンに掲げ、コロナ禍にあっても、すべての組合が賃上げに取り組むことで、「底上げ」「底支え」「格差是正」の取り組みを加速させ、労働者に対し成果の適正な分配をはかること。また、感染症対策をはかりながら景気を安定的に回復させつつ、経済の後追いではなく、経済・社会の活力の原動力となる「人への投資」を積極的に求める「未来づくり春闘」を方針に定め、「働くことを軸とする安心社会」の実現に向け、働く仲間が共闘し未来への一步を踏み出す決意を固めた。

そのうえで、2022 春季生活闘争においても、月例賃金の引き上げにこだわり、雇用の維持・確保を大前提に、それぞれの状況の違いを理解しながら、全ての組合が賃上げに「みんなで行く」ことを基本に据え、企業規模間、雇用形態間、男女間などの格差是正にも取り組まなければならない。

同時に、労働組合の意義と集団的労使関係の重要性について、広く社会にアピールし「みんなに知ってもらおう」ことで、「みんなを増やしていく」仲間づくりにつなげるとともに、春闘で勝ち取った成果を、すべての働く仲間「みんなに届ける」ことで、社会全体の底上げをはかる運動を推進していかなければならない。

連合沖縄は、労働組合の有無や、有期・短時間・契約等の雇用形態に関わらず、すべての労働者・生活者の、「底上げ」「底支え」「格差是正」の実現に重点を置いた闘争を展開し、コロナ禍によって明らかとなった社会の脆弱さをも克服し、将来世代に希望が繋がる、持続可能な社会を実現するため、構成組織・地域協議会が一体となり、闘争体制を構築し全力で闘う。

連合沖縄は、ここに 2022 春季生活闘争の開始を宣言する。

未来づくり
春闘

2022 年 2 月 14 日
日本労働組合総連合会沖縄県連合会
2022 春季生活闘争開始宣言集会